

会 議 録

会 議 名	令和 7 年度第 2 回小金井市民交流センター運営協議会		
事 務 局	市民部 コミュニティ文化課		
開 催 日 時	令和 7 年 1 2 月 4 日（木） 1 8 時～ 2 0 時		
開 催 場 所	小金井 宮地楽器ホール 小ホール		
出 席 委 員	小林真理委員長 福沢政雄副委員長 亀田奈美子委員 小林勉委員 中原和樹委員		
欠 席 委 員	伊東正示委員 遠藤弘委員 清水千代子委員 立石訓人委員		
事 務 局	小金井市 コミュニティ文化課長 中川法子 コミュニティ文化課係長 津端友佳理 コミュニティ文化課主任 武田麗子		
オブザーバー	市民交流センター指定管理者 1 野村不動産パートナーズ株式会社 施設管理マネージャー 高城拓也 2 サントリーパブリシティサービス株式会社 館長 岡本由紀子 支配人 神田守章		
傍 聴 の 可 否	可		
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由		傍聴者数	0 人
会 議 次 第	(1) 令和 8 年度事業計画について (2) その他		
会 議 結 果	別紙のとおり		
会 議 要 旨	別紙のとおり		
提 出 資 料	(1) 次第書 (2) 令和 8 年度小金井市民交流センター事業計画書		

1 議題へ入る前に事務局から説明

- (1) 事前配付資料の確認、当日配付資料の確認を行った。
- (2) 本協議会の所掌事項、会議の運営について事務局から、説明を行った。

2 令和8年度事業計画について

冒頭に指定管理者から、令和8年度事業について説明の後、協議した。

- ・委員から、ゲーム音楽の企画は新しい客層を呼び込むには良い企画だと思う。小ホールの主催事業が少ないため、小ホールで音楽ではない分野も検討するのはどうかという意見
- ・委員から、小金井市芸術文化振興計画に基づいて事業を行っていると思うが、利用する側としても計画について知る機会があると良いという意見
- ・委員から、今は来場者が多いと思うが、高齢化等もあるため、今後自主事業へ来場してもらえる仕組みが何かあると良いという意見
- ・委員から、過去の大ホールの入場者数の実績について質問

→指定管理者から、自主事業において、大体550名位入ることが多い。公演によって目標値が異なり、大体300～500名で設定しており、目標は達成しているという回答

- ・委員から、収益を上げる事業ではないが、来場者、利用者共に新しい層に広げていくために、挑戦的なプログラムにチャレンジするのはどうかという意見

→指定管理者から、芸術文化公演事業は、収入を獲得できる公演として考えているが、市民芸術振興事業は比較的無料の催しが多い。挑戦したいがどうすると収支バランスを考えながら無理なく続けられるかを考えている。1年間で1本か2本はバリアフリーコンサートのようなイベントをしたいと考えているが、主催事業だけでやるのは限界があるため、共催で協力していただける方がいればお互いの負担を軽減させながら一緒に実施をしていきたいという回答

→委員から、誰でも対象というイベントは、障がい者は参加しにくい。どのような芸術を求めているのかを探求し、本当に欲している人に何か届けられるような事業を公共文化施設としては実施してほしい。現場で把握したニーズについて、市側に働きかけ、より良い文化行政を行ってほしいという意見

- ・委員から、施設を利用できる枠をホール側から提供し、市民提案型の協働事業のように市民側から提案してもらいたい形はどうかという意見

→指定管理者から、令和7年度に実施する「こがねいクリスマスLIVE」では、

市内団体から出演者を募集、また、市民から制作・運営ボランティアを募集し、市民協働事業として計画を進めているという意見

- ・委員から、市民芸術振興事業で共同主催の相手先はどのように決めているのかという質問

→指定管理者から、こちらからお声がけすることもある、先方からご提案いただくこともある。今期の活動と市民団体の活動が合致するかどうかを検討し、一緒にやらせていただいていると回答

- ・委員から、大ホールは上らなくてはいけない点がハードルが高いため、小ホールは利便性が高い。しかし、小ホールの楽屋や練習室は電波が入らないため不便という意見

- ・委員から、施設利用料改定の場合は、厳格に審査していただきたい。また、1年後等先が読めるような形で時期を設定していただきたい。舞台人件費についても同様に、納得できるようなやり方、金額を設定してほしいという意見

- ・委員から、LINEについて、具体的に何を行うのかという質問

→指定管理者から、情報収集のツールでLINEを使われている方が多いため、導入を検討している。広報ツールとして使用するが、どのような発信が良いかは検討中と回答

→委員から、紙媒体は見ない方も多いが、LINEは見る方が多いため、公演情報等配信されると良いのではという意見

→委員から、紙媒体と違い、URLを直接クリックできる点が便利という意見

- ・委員から、小金井メンバーズの会員数は前年度から増減はあるのかという質問

→指定管理者から、公演によって前後することはあるが、昨年度に比べて50名～100名位の間で毎月前後して推移していると回答

→委員から、市民がこのホールを自分たちのホールと思えるかが大事だと思うという意見

→委員から、金銭的なメリットを享受したい方と文化的なメリットを享受したい方へ向けて差別化したサービスを提供していくのはどうかという意見

→委員から、大規模修繕等に向けて、寄付会員のような制度を作ってはどうかと

いう意見

- ・委員から、広報する内容で、情報だけではなく、インタビュー等を発信しても良いのではという意見
- ・委員から、貸館で行うイベントについて、広報誌を見ても公演なのか練習なのか分からない。情報をもっと掲載できないか。入力フォームがあると良いのではという意見

⇒上記の議論を踏まえ、運営協議会として、次のとおり要望・質問をまとめた。

1 料金の値上げについては、利用者が納得しやすい対応をしてほしい。

3 その他

特になし